



はくい (HAKUI)

市議会だより

No.82

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

主な内容

一般質問……………	2
各委員会報告……………	5
採決結果……………	7



「令和」ゆかりの万葉集の選者 大伴家持歌碑

令和元年第2回定例会の概要

令和元年第2回羽咋市議会定例会が、6月10日から6月25日までの16日間開催された。提出された議件は、令和元年度一般会計補正予算など議案6件、報告15件。

初日の提案説明の冒頭で、山辺市長は、「令和」の時代を迎えるにあたり、気持ちも新たに、市民と共に、希望に満ちた輝かしい未来へ邁進していくと表明した。

提案説明では、「がんばる羽咋創世総合戦略」は第1期の最終年度になることから、「羽咋創世」の総仕上げとして、各種事業の自立・自走を目指すとともに令和2年度をスタートとする第2期総合戦略の策定に取り組むとした。また、道の駅「のと千里浜」は、オープン以来レジ通過者が27万人を超え、売り上げは、3億4,100万円でおおよそ500万円の黒字になったこと、今年度の売り上げ

は3億7,000万円を目指すとした。小中学校の冷房設備については、6月までに設置工事が完了するとの報告がなされた。その他、地域商社の取組み、プレミアム商品券の発行、地域包括ケアの推進、寺家遺跡の保存整備などについて説明がなされた。

6月18日の質問日では、7人の議員が質問に立ち、羽咋駅の周辺整備、介護保険事業計画の見直しについて、大型鳥獣出没の対応、少子化対策、上下水道管の更新計画、雨に関する危機管理、幼児教育・保育の無償化などについて質問した。

最終日の採決では、令和元年度一般会計補正予算など市長提出議案6件、報告10件を原案のとおり可決、承認した。請願1件は、賛成全員で採択とした。また、議員提出議案1件、市長提出人事案件5件が追加され可決、同意、適任とした。



浅野 俊二 議員

マルシェ跡地を羽咋の 第2公民館にせよ



旧マルシェ周辺

羽咋駅の周辺整備を急げ

【質問】にぎわい創出について基本計画の中でどのように生かされるのか。特に七尾市駅前のパトリアの複合施設の失敗を重大に受けとめなければいけない。にぎわいの創出で重要なのは子供やお年寄りが集まる図書館、イベント広場や防災広場等で、以前に私は、羽咋公民館は手狭なので、羽咋公民館の第2公民館的な役割を持った建物をつくるべきだ。

【答弁】マルシェ跡地をより有効活用するため、県道からの進入路部分1,700平方メートルの用地を取得した。一方策定委員会を設置し、基本計画の提案を受けている。河川整備や水辺の利活用を協議、又、商工関係者とも協議している。基本コンセプトは「市民とともに、つくる、楽しむ、集う、羽咋の玄関口らしい地域交流による賑わい創出」の実現をめざす。指摘の災害に対する備えや

市民が集い、集客につながる施策は、重要な視点であり基本計画で検討する。次に七尾市の例は計画に生かす。

道の駅をより活性化せよ。

【質問】①営業時間を延長せよ。②シェフにかわる人材を確保せよ。③働きたい社員には労働時間を延長せよ。希望調書をとるように。④市内で店がない町会が増えている。巡回販売と、その場がサロン化されるように。

【答弁】①夏期は終了時間を午後6時→午後7時にするなど柔軟に対応する。②若手2人のローテーションで対応したい。③定期的に社員の希望をとっている。④巡回販売は高齢者の支援として重要な施策だ。人員配置や機材の確保、経営上のバランスを見て検討する。



中村 孝清 議員

介護保険事業計画の見直しと 健康寿命



リハビリテーション

介護保険事業の見直しを

【質問】介護保険が始まって以来18年が経過しており、介護計画により高齢者が住み慣れた地域で快適な生活ができるように社会全体で支え合う取り組みが種々されている。この間、介護保険料も徐々に上がっており、市として市民にこれ以上介護保険料を上げずに下げることができないか。

【答弁】介護保険料を下げるということは非常に厳しいと思うので、急激に上げるのを抑制するという努力についてはこれからもしっかりとやっていく。

リハビリサービスを利用して健康寿命を

【質問】日本の平均寿命が男女とも80才を超え高齢化を迎えているなかで健康寿命を延ばす取り組みが盛んに行われている。積極的に自分の回復を

目指してリハビリ運動することにより歩行ができたり、生涯においても、人としての尊厳を持って暮らしていくことが大切である。羽咋病院においてもリハビリ施設を併設している。民間においても積極的に高度な機器を導入して予防と回復に取り組んでいる施設もあり、民間施設と連携した取り組み計画を問う。

【答弁】リハビリなどによる自立支援及び重度化予防を強化すると共に、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、健康づくりや介護予防、及び地域包括ケアシステムの増進に努める。



浜名 等 議員

融雪装置を羽咋病院 周辺道路に設置せよ



融雪装置が必要な羽咋病院周辺道路

冬期間の病院利用者に利便性の向上を図れ

【質問】 羽咋病院周辺の道路は交通量が多く、融雪装置の設置は大きな効果が見込まれる。これまでの議会質問では、「既設装置からの取水可能性調査をする」と、市長は答弁しているが、調査結果を踏まえた考えを聞く。

【答弁】 羽咋病院や国道からの取水については、関係機関との協議は難しいと聞いている。新規の融雪装置の整備は、設置や維持管理に多額の費用が必要となり、早急な整備は難しい。庁内ではむつみ橋周辺については、検討が必要だと協議をしている。羽咋病院は安全・安心の中核施設であり、長期的視野に入れながら、今後も考えていく。

羽咋駅周辺整備事業の進捗状況を示せ

【質問】 羽咋駅周辺整備事業は、本市の重要な課題であり、市民をはじめ私たち議会にとっても大

きな関心事である。開示できる情報は小さなことでも早く市民に伝え、全ての市民が情報を共有した上で、事業を進めるべきだと考える。3月議会以降の進捗状況を聞く。

【答弁】 現在、マルシェ跡地から紺屋橋付近までの測量作業を実施しており、6月末を目途に地形図を作成し、川原町線や長者川の基本計画策定に活用する。また、市民公募を含めた15人の委員で構成する「基本計画策定委員会」を設置。6月3日には委員会を開催し御意見等を頂いている。今後、委員会で今年度中に基本計画を策定する。

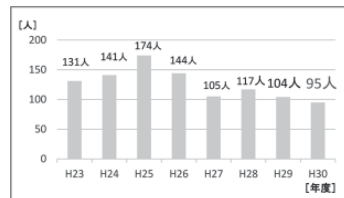
その他の質問

- ①大型鳥獣の出没の対応について
- ②上水道管の老朽化対策について



櫻井 英一 議員

新たな令和時代 持続可能な地域づくりを



近年の出生数

少子化対策

【質問】 本市の昨年度の出生数は95人であり、昭和33年の市制施行以来、初めて100人を下回った。少子化に歯止めが掛かっていない現状を受け止め、これまでの施策の見直しや強化が必要だ。

【答弁】 出生数の減少は、未婚傾向と若い世代の減少が一因だと考えている。将来を見据えた少子化対策として、子供を生み育てる世代に羽咋市に住んでもらうことが重要である。今年度は、第2期子ども・子育て支援事業計画策定の年であり、ニーズ調査を実施するほか、若い世代の意見を聞く機会を設け、効果的な施策を計画に盛り込むよう努める。

地域経済の活性化対策

【質問】 「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルを断ち切らなければならない。これ

までにない危機感とスピード感を持って、人口減少対策とともに地域経済の活性化に取り組む必要がある。

【答弁】 信州大学の北村大治特任准教授に、本市の経済循環構造を基にした具体的な提案をいただいた。内容は、繊維や鉄鋼など本市の基幹産業との産業連関が可能な企業や、AI・航空・自動車開発などの次世代産業を戦略的に誘致することで、地域の産業が持つ素材の技術力が伸びる可能性があるとの内容だった。この提案を受け、今後さらなる地域経済の活性化や雇用の拡大につなげるため、基幹産業関連の企業誘致に積極的に取り組みたい。

その他の質問

- 買い物難民対策について



岸 博一 議員

バイクイベントに 参加者4千人超



千里浜海岸のバイクイベント

SSTRの効果について

【質問】 SSTRいわゆるサンライズ・サンセット・ツーリング・ラリーが5月22日から2日間の日程で行われたが、経済的波及効果はどれだけであったと推測されるか。また、4,000人を超える参加者があり、受け入れにあたっては、千里浜町会だけでなく、他の地区の方やボランティアの方の参加調整ができないか。

【答弁】 宿泊代や飲食代、土産品等で市内消費が1,200万円、経済的波及効果は1,800万円を超えると推測する。およそ4,000人の参加者があり、一大イベントとなっている。参加者対応については、他の地区やボランティアの方の協力依頼を検討したい。

上水道管の更新について

【質問】 千里浜地区の水道管破裂の報道があった

が、今後10年間、上水道の老朽管の更新を行った場合、市の実質負担額は。また、現在の水道料金で賄えるのか、水道料金の値上げが必要となるのか。また、一般会計からの補助金が必要となるのか。

【答弁】 更新費用は約4億円と試算。3分の1が国の補助となるので、市の実質負担はおよそ2億6,000万円となる。平成29年から10年間の水道事業経営戦略では、老朽管を更新しても水道料金の値上げをせずに経営できると考えており、一般会計からの補助についても想定していない。

その他の質問

- ①子育て支援の充実について
- ②軽自動車税の課税について



酒井 一人 議員

安全・安心 はくい市民の ための危機管理を



子浦川 宝達志水町吉野屋橋の橋脚の水位標

安全・安心 熊出没での危機管理はどうか

【質問】 大川町での熊の対応で、現場職員の指揮命令系統がずさんであり、誰が指揮を執って、熊をどのように「追い払い」または「捕獲」するのか明確でなく、対応していた職員の現在地の掌握ですらままならない状況であったと思うが、①当日の対応について、どう捉えているのか。②同時通話可能な無線機の導入を考えてはどうか。

【答弁】 ①議員指摘のとおり、現場の職員が組織的に対応するには、指揮命令系統や各自の役割を明確にすることが重要だと考えている。今後は、対応策を整理し、さまざまなケースに迅速かつ円滑に対応できるように努める。②同時通話可能な無線機の導入は、今後の検討課題としたい。

安全・安心 雨に関する危機管理はどうか

【質問】 危険予知の観点から、地元の住民が安全な場所から、河川の水位の状況を確認できるように、主要河川の橋脚や橋台等に避難レベルを明示した看板を設置し、防災の自助・共助に役立つ設備が重要な安全対策であると考えているが。

【答弁】 石川県が管理する二級河川のうち羽咋川、長者川、長曾川、飯山川、酒井川の5河川に、河川の水深がわかる量水標が設置されている。また、水位周知河川の羽咋川と子浦川に、避難判断水位や氾濫危険水位を色分けした表示板が設置されている。羽咋川は的場町の羽咋病院付近、子浦川は宝達志水町の吉野屋橋付近。今後も表示板設置について、石川県に引続き要望する。



北川 真知子 議員

給食費の実費負担やめよ



千里浜保育所

給食は保育の一環、なぜ実費徴収か

【質問】 幼児教育・保育料の無料化が10月から施行され、3歳児から5歳児が無償化の対象となる。無償化は、子育て世代の願いであり、歓迎すべきことであるが、問題もある。一つは、保育料の無償化は消費税10%の増税分が財源であるため、低所得世帯では無償化の恩恵はない。消費税増税による痛みだけが押しつけられる。もう一つは、給食費の自己負担である。これまで副食は保育料に含まれていたため、保育料が無償となっている世帯では、これから給食費を払うことになり、負担がふえる。

年収360万円を超える世帯では、給食費を徴収するのか。また、市独自に年収470万円未満の世帯の第2子は保育料無料、年収470万円以上は半額としているが、これらの世帯の給食費は徴収するのか。

【答弁】 給食費の徴収については、県内の市町の状況を確認しながら検討する。多子軽減を受けて

いる世帯の給食費については、保育料が現在無料の世帯は給食費を徴収しない方向で検討。

待機時間対策を

【質問】 るんるんバスを利用してユーフォリア千里浜に来る人達は、10時の開館まで、玄関でまたなければならず、困っている。るんるんバスをユーフォリア千里浜の開館時間に合わせるなど対策を。

【答弁】 るんるんバスの運行については、利用者アンケートや地域及び運行業者の意見を聞いて検討したい。

その他の質問

- ①介護保険制度について
- ②「不登校」について
- ③会計年度任用職員制度について

予算常任委員会報告

◎新田 義昭 ○酒井 一人 岸 博一 浜名 等
北川真知子 寺井 哲也 櫻井 英一 稲村 信成
大塚 幸男 塩谷 久司 中村 孝清 山本 泰夫
浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第23号「令和元年度羽咋市一般会計補正予算第1号」など、議案1件、報告5件。

6月19日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案1件、報告5件については、いずれも全会一致で原案のとおり可決・承認した。

審査の過程での、主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 いしかわ移住支援事業について、東京23区に5年以上在住した方の移住に対して補助金を支給することのことだが、羽咋市出身者等に、制度の周知を積極的に行ってはどうか。

【答弁】 ダイレクトメールの送付、ホームページへの掲載等も含めて、積極的に事業の周知に努めていく。

【質問】 地域包括ケアを推進する上で、生活支援体制の整備は中心的事業になると思うが、今後の方向性及び目標はどうか。

【答弁】 今後も地域での支え合いを推進していく。昨年は、一ノ宮、柴垣、千里浜の3つの地域で生活支援協議体が立ち上がった。今年度は、市内すべての地区に生活支援協議体を立ち上げたい。

その他として、基金の積立てについて、眉丈台地自然緑地公園の整備について、今後の介護保険料についての質問・答弁がされた。

総務民生常任委員会報告

◎中村 孝清 ○岸 博一 北川真知子 稲村 信成
塩谷 久司 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第25号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について」など、議案4件、報告5件。

6月20日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案4件、報告5件は、全会一致で原案のとおり、可決・承認した。

陳情3件については、聞き置くこととした。

審査の過程での、主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 介護保険料の改正について、65歳以上の所得の低い非課税世帯の方が、約2,300人いるということだが、保険料の納付等において問題点はないのか。

【答弁】 介護保険料だけでなく、介護保険サービス利用時の1割の自己負担分もあるので、適正なサービス利用も含めて、本人の負担増にならないように指導している。

その他として条例改正における公布日について、軽自動車税の改正について、土地開発公社の経営についての、質問・答弁がされた。

付託案件以外の所管事項として、民生委員のなり手不足について、市の臨時職員等の賃金についての質問・答弁がされた。

産業文教常任委員会報告

◎浜名 等 ○酒井 一人 寺井 哲也 櫻井 英一
大塚 幸男 新田 義昭 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第24号「羽咋市森林環境譲与税基金条例の制定について」の議案1件、請願1件。

6月21日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案1件については、全会一致で原案のとおり可決した。

また、請願第6号「教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出を求める請願」については、賛成全員により採択した。

審査の過程での、主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】 羽咋市の森林について、条例の対象となる面積と条件は何か。

【答弁】 対象となる人工林とは、これまでに植林を行ってきた民有林であり、市有林や公有林は対象ではない。また、対象となる人工林の面積は約796ヘクタールである。

【質問】 森林環境譲与税といしかわ森林環境税との用途目的の違いは何か。

【答弁】 県の環境税は竹林の伐採や県産材の利用促進、緩衝緑地帯の整備などを重点的に進めていく用途であるのに対し、森林環境譲与税は人工林の間伐事業や担い手確保を促進するものであり、それぞれの目的が重複しない事業を行うことになっている。

また、報告事項については、まちづくり株式会社における今後の方策、経費の見直しや軒下活用、レストランの運営等に関する質問・答弁がされた。

付託案件以外の所管事項として、「寺家遺跡整備基本計画」に基づく史跡整備に関する今後のスケジュール、岩ガキ採取における担い手育成の支援についての質問・答弁がされた。

令和元年 第2回定例会 6月議会 議決一覧

◇ 令和元年度羽咋市一般会計補正予算など、市長提出議案9件すべてが全会一致で、6件が可決、3件は同意。平成30年度羽咋市一般会計補正予算の専決処分など、市長提出報告議案10件も全会一致で承認。また、教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出を求める請願についても、全会一致で採択され、議員提出請願議案として提出され、全会一致で可決。そして、市長提出諮問2件についても、全会一致で適任とした。

本定例会においては、議決に意見の分かれた議案等はなかった。

■全会一致で議決された議案等

	議 件 名	議決結果
市長提出議案第23号	令和元年度羽咋市一般会計補正予算(第1号)	可 決
市長提出議案第24号	羽咋市森林環境譲与税基金条例の制定について	可 決
市長提出議案第25号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第26号	羽咋市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第27号	羽咋市介護保険条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第28号	財産の取得について	可 決
市長提出報告第1号	平成30年度羽咋市一般会計補正予算(第7号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第2号	平成30年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第3号	平成30年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第4号	平成30年度羽咋市介護保険特別会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第5号	平成30年度羽咋市千里浜財産区特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第6号	羽咋市税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第7号	羽咋市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第8号	羽咋市原子力発電施設等立地地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第9号	羽咋市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第10号	羽咋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
請 願 第 6 号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書提出を求める請願	採 択
議員提出議案第4号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について	可 決
市長提出議案第29号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同 意
市長提出議案第30号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
市長提出議案第31号	千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
市長提出諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任
市長提出諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任

行政視察

総務民生常任委員会と産業文教常任委員会の行政視察が行われました。

視察先・視察日程・視察内容は次のとおりです。

総務民生常任委員会

視察先	視察日程	視察内容
山形県酒田市	5月14日(火)	子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」について
山形県村山市	5月15日(水)	「むらやま子育て・あいあるプラン」について

産業文教常任委員会

視察先	視察日程	視察内容
島根県出雲市	5月23日(木)	観光交流推進事業(山陰インバウンド機構との取組み)について
島根県松江市	5月24日(金)	地域産業活性化事業 ものづくりアクションプランについて

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を集めています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定

例会は9月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

編集後記

石川県各種女性団体連絡協議会・石川県などが主催する「2019年男女共同参画のつどい」が6月29日、石川県女性センターで開催されました。常光利恵会長は、男女の賃金格差がそのまま年金の格差になっているとの例をあげて、これからは男女参画の理念を実践に移す時代に入っていると開会あいさつをされ、谷本知事は、男女平等社会を条例だけで終わらせず、県内の企業に問題提起をしていくなど具体的にすすめていきたいとあいさつをされました。「男女平等の社会」が実現するように頑張りましょう。

(北川 真知子)

市議会だより編集委員会

委員長	岸 博一
副委員長	酒井 一人
委員	北川真知子 櫻井 英一 新田 義昭